



The Spring League vs JAPAN

2020年3月1日(日)

@Ford Center at The Star KICKOFF 19:00

報告書



公益社団法人 日本アメリカンフットボール協会



〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 801
TEL:03-5843-0482・FAX:03-5843-0483

1. 日本代表 vs THE SPRING LEAGUE 選抜 国際試合について

主 催 : USA FOOTBALL・THE SPRING LEAGUE・公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

遠征日時 : 2020年2月27日(木) ~3月3日(火)

試合日程 : 2020年3月1日(日)

試合会場 : The Ford Center at The Star, Frisco, Texas, USA

9 Cowboys Way, Frisco, TX 75034 USA

試合開始 : 午後7時 Kick off

2. 試合結果

【 JPN vs TSL 2020 試合結果】

現地時間 3月1日(日) 19時00分キックオフ	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
The Spring League 選抜	7	6	14	9	36
Team JAPAN	3	0	7	6	16

【試合経過】

得点経過				
1Q	3 - 0	JPN	#11 鈴木健太 15yd FG	
1Q	3 - 7	TSL	#11 32yd Pass from #18 (#24 Kick Good)	
2Q	3 - 13	TSL	#26 3yd Run (#24 Kick NG)	
3Q	3 - 20	TSL	#18 7yd Run (#24 Kick Good)	
3Q	3 - 27	TSL	#15 27yd Pass from #18 (#24 Kick Good)	
3Q	10 - 27	JPN	#84 近江克仁 21yd Pass from #18 高木翼 (#11 鈴木健太 Kick Good)	
4Q	16 - 27	JPN	#26 藤本拓弥 7yd Run (2point Conv.NG)	
4Q	16 - 29	JPN	Safety	
4Q	16 - 36	TSL	#3 19yd Pass from #6 (#24 Kick Good)	

【チーム記録】

JAPAN	チーム成績	TSL
51-259	オフェンス回数-総獲得ヤード数	67-475
21-34-1.6	ラン回数-獲得ヤード数 Avg	30-158-5.3
225	パス獲得ヤード数	317
30-15-2	パス回数-成功回数-被インターセプト	37-23-2
13 (5-7-1)	ファーストダウン(Run/Pass/反則)	23 (10-13-0)
2-10	ペナルティ回数-喪失ヤード数	7-53
1-1	ファンブル回数-喪失回数	1-1
2/9	3 rd down conv	4/8
0/1	4 th down conv	0/0

3. 試合内容レポート



現地 3 月 1 日、米国テキサス州フリスコにある NFL ダラス・カウボーイズの練習拠点『フォードセンター・アット・ザ・スター』で行われた日本代表対 TSL 選抜の一戦は、16 対 36 で TSL 選抜が勝利した。先にチャンスを掴んだのは日本代表だった。自陣 29 ヤードから始まった TSL 選抜の最初の攻撃を 3 & アウトに仕留めると、元 NFL パンターのマット・ダラーのパントを DB 山本泰世（オービック）がブロック。DB 中谷祥吾（IBM）がこぼれたボールをゴール前 4 ヤードに運んで、このチャンスを第 1Q 6 分 11 秒に K 鈴木健太（慶應）が 22 ヤード FG に繋げて先制した。

直後の T S L の攻撃も 3 プレー目に DL 平澤徹（オービック）がインターセプトに仕留めて再び敵陣からの攻撃権を得たが、ここから TSL が反撃。DB グレン・ハリスにインターセプトを喫して与えてしまい、第 1 Q 12 分 40 秒に元 NFL テネシー・タイタンズの QB ザック・メッテンバーガーから WR エリック・ブランディジへの 45 ヤードの TD パスを決められて逆転を許してしまった。

第 2 Q にはメッテンバーガーに代わって登場した QB ジェームズ・タバリーが、元 NFL テネシーの RB アントニオ・アンドリュースを筆頭に、リロイ・ウィルソン、エリオット・テイラーの 3 人の RB のランでリズムを作り、第 2Q 8 分 02 秒にウィルソンの 3 ヤード TD ランで加点（PAT 失敗）。3 対 13 で折り返しとなつた。



第3Qに入ってもTSL選抜のインサイドのランを止められず。第3Q 4分01秒にQB メッテンバーガーのスニーキによるTDを奪われた。さらに次の日本代表の攻撃機会もインターチェンジで失って第3Q7分06秒にメッテンバーガーからWR ラクビオンテ・ゴンザレスへのTDパスを許した。

3対27と大きく差を広げられた日本代表だが、自陣25ヤードから始まった攻撃機会にパッシングユニットが機能。QB 高木がWR 近江克仁（IBM）、西村有斗（オービック）と立て続けにロングパスを決めて、第3Q8分27秒に近江への22ヤードTDパスを決めて反撃。第4Q最初の自陣17ヤードから始まった攻撃機会も、WR 松井理己（富士通）のロングパス捕球を足がかりに敵陣に進攻。WR 岩松慶将（富士通）へのパスでゴール前に迫り、第4Q2分47秒にRB 藤本拓弥（パナソニック）の7ヤードTDラン（PATパス失敗）で、10点差まで詰めた。



さらに得点圏に攻め込まれたピンチをDB 山本（泰）のインターチェンジでしのいだ日本代表だが、自陣9ヤードから始まった攻撃機会はセーフティを献上。しかし、LB 林直輝（パナソニック）のプレッシャーや、DL 藤谷雄飛（富士通）のQBサックでTSLの攻撃をパントに追い込むと、ロングナップをミスしたボールをDB 辻篤志（パナソニック）がリカバーして敵陣15ヤードからの攻撃機会を獲得。しかし、このシリーズはTSL守備フロントの猛烈なプレッシャーを浴びてファンブルで失い、試合残り時間3分にもTSLにTDを許し差を広げられた。

「よくやった部分もあるし、もちろんもっとできる部分もある。ただ、言い訳なしでこの結果は受け止めなければならない。これが今の実力。これが皆の持っている能力のすべてだとは思わない。実際にいいタックルもいいキャッチもできていた。大事なことはこういう経験をした人が自分のチームに帰って、なんとか伝えて、国内でももっとレベルの高い競争をしなければならない。敵味方関係なく国内のリーグのレベルを皆で上げて、このぐらいのレベルには勝てるスタンダードをまずは我々がもたなければならぬ」

日本代表を率いた藤田智HCは、試合後のロッカールームで、この経験を糧に日本代表選手たちが中心となって国内リーグのレベル向上に繋げていくことを促した。

4. 個人記録

JPN 主な個人成績					
選手名	パス試投-成功	獲得ヤード	TD	インターチェンジ	LG
#18 高木 翼（富士通）	29-15	225	1	1	34yd
# 8 鈴木 優介（LIXIL）	1-0	0	0	1	0
選手名	ラン回数	獲得ヤード	TD	1回平均	最長
# 5 ミッチェルビクター ジャモー（パナソニック）	12	46	0	3.8	11

#18 高木 翼 (富士通)	6	22	0	3.7	6
#24 白神 有貴 (エレコム神戸)	2	2	0	1.0	2
#26 藤本 拓弥 (パナソニック)	1	7	1	7.0	7
#28 竹内 廉 (パナソニック)	1	1	0	1.0	1
選手名	レシーブ回数	獲得ヤード	TD	1回平均	最長
#84 近江 克仁 (IBM)	4	106	1	26.5	49
#85 松井 理己(富士通)	2	42	0	21.0	31
#22 岩松 慶将(富士通)	2	30	0	15.0	29
#5 ミッキルビックター ジャモー(パナソニック)	2	4	0	2.0	4
#7 西村 有斗 (オービック)	1	34	0	34.0	34
#81 水野 太郎 (オービック)	1	9	0	9.0	9
#89 福井 雄哉 (富士通)	1	4	0	4.0	4
#87 水野 悠司 (富士通)	1	1	0	1.0	1
#28 竹内 廉 (パナソニック)	1	-5	0	-5.0	-5

◆FUMBLE RETURN

選手名	回数	獲得ヤード
#1 中谷 祥吾 (IBM)	1	16
#27 辻 篤志 (パナソニック)	1	NR

◆FIELD GOAL

選手名	回数	獲得ヤード
#11 鈴木 健太 (ノジマ相模原)	1	15

◆PUNT

選手名	回数	獲得ヤード	最長
#11 鈴木 健太 (ノジマ相模原)	4	153	46

◆PUNT RETURN

選手名	回数	獲得ヤード
#7 西村 有斗 (オービック)	1	11

◆KICK OFF RETURN

選手名	回数	獲得ヤード
#84 近江 克仁 (IBM)	1	18
#7 西村 有斗 (オービック)	1	17



〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 801
 TEL:03-5843-0482・FAX:03-5843-0483

◆INTERCEPT

選手名	回数	獲得ヤード
#20 平澤 徹 (オービック)	1	4
#32 山本 泰世 (オービック)	1	2

◆LOSS TACKLE

選手名	回数	獲得ヤード
#1 中谷 祥吾 (IBM)	1	-3
#66 伊藤 啄丸 (IBM)	1	-1
#68 清家 拓也 (オービック)	1	-1
#44 丸尾 玲寿里 (アサヒ飲料)	0.5	-3
#90 藤谷 雄飛 (富士通)	0.5	-3

◆QB SACK

選手名	回数	獲得ヤード
#44 丸尾 玲寿里 (アサヒ飲料)	0.5	-3
#90 藤谷 雄飛 (富士通)	0.5	-3

5. COACHING STAFF & TEAM STAFF & ROSTER

TEAM JAPAN COACHING STAFF							
監督	DC	DC/DL	DB	RB/K	OC/QB	OC/OL	WR
藤田 智 富士通フロンティアーズ	THOMAS KAUMEYER IBMビッグブルー	大橋 誠 オービックシーガルズ	武田 真一 オール三菱ライオンズ	荒木 延祥 パナソニックインパルス	富永 一 DIXILティアーズ	米倉 輝 エレコム神戸ファイニーズ	板井 征人 東京ガスクリエーターズ

TEAM JAPAN STAFF							
CDM	ACDM	GM	DR	TRN	Team Staff	Team Staff	Team Staff
山田 晋三 IBMビッグブルー	巽 哲夫 パナソニックインパルス	常盤 真也 富士通フロンティアーズ	西澤 勇一郎 神戸海星病院	福田 崇 筑波大学	井澤 秀野 富士通フロンティアーズ	神永 健介 富士通フロンティアーズ	吉澤 忠晃 富士通フロンティアーズ
Team Staff	Team Staff	Team Staff					
宮原 琴 富士通フロンティアーズ	佐藤 理紗 富士通フロンティアーズ	奥 亮 JAFA					



〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 801
TEL:03-5843-0482・FAX:03-5843-0483

TEAM JAPAN ROSTER

1	3	4	5	7	8	9	11
中谷 祥吾 IBM ビッグブルー	小椋 拓海 富士通フロンティアーズ	森 直輝 パナソニックインパルス	ミケル ピクター ジャモー ^{University of Virginia's College at Wise} パナソニックインパルス	西村 有斗 オービックシーガルズ	石井 優介 LIXILディアーズ	宜本 潤平 富士通フロンティアーズ	鈴木 健太 ノジマ相模原ライズ
関西大学 DB:180/93	関西学院大学 DB:168/76	関西大学 LB:178/90	University of Virginia's College at Wise RB:170/81	日本大学 WR:170/80	神戸学院大学 QB:178/89	立命館大学 WR:168/70	慶應義塾大学 K/P:170/83
13	14	15	18	20	21	22	23
岩本 卓也 オービックシーガルズ	須田 克志 オービックシーガルズ	高橋 健 無所属	高木 翼 富士通フロンティアーズ	平澤 徹 オービックシーガルズ	大貫 曜 富士通フロンティアーズ	岩松 廉将 富士通フロンティアーズ	佐藤 将貴 オービックシーガルズ
日本大学 LB:178/92	京都大学 DB:184/89	法政大学 DB:175/83	慶應義塾大学 QB:183/92	関西学院大学 DL:178/95	立命館大学 DB:180/89	日本大学 WR:175/92	中央大学 DL:183/24
24	25	26	27	28	32	40	44
白神 有貴 エレコム神戸ファニーズ	山本 寛人 オービックシーガルズ	藤本 拓弥 パナソニックインパルス	辻 篤志 パナソニックインパルス	竹内 康 パナソニックインパルス	山本 泰世 オービックシーガルズ	ワイスマン モーゼス 海人 パナソニックインパルス	丸尾 球寿里 アサヒ飲料チャレンジャーズ
大阪府立大学 RB:170/87	神奈川大学 DB:185/81	龍谷大学 RB:170/76	大阪産業大学 DB:173/89	甲南大学 DB:173/78	関西学院大学 DB:183/83	日本大学 LB:180/96	University of Texas at San Antonio LB:183/102
47	56	66	67	68	71	72	75
山岸 明生 富士通フロンティアーズ	藏野 裕貴 富士通フロンティアーズ	伊藤 啼丸 IBM ビッグブルー	阪口 友章 パナソニックインパルス	清家 拓也 オービックシーガルズ	築瀬 貴史 慶應義塾大学	唐松 星悦 東京大学	黒川 晴央 アサヒ飲料チャレンジャーズ
関西大学 LB:180/99	関西学院大学 OL:185/129	桃山学院大学 OL:183/152	関西大学 OL:183/120	関西大学 DL:175/135	関西学院大学 OL:185/120	日本大学 OL:185/125	名城大学 OL:188/129
77	78	81	84	85	86	87	89
臼井 直樹 富士通フロンティアーズ	齋藤 瑞平 エレコム神戸ファニーズ	水野 太郎 オービックシーガルズ	近江 克仁 IBM ビッグブルー	松井 理己 富士通フロンティアーズ	森田 恒平 富士通フロンティアーズ	水野 悠司 富士通フロンティアーズ	福井 雄哉 富士通フロンティアーズ
日本大学 OL:185/122	立命館大学 OL:180/133	法政大学 WR:183/86	立命館大学 WR:180/83	関西大学 WR:185/86	天理大学 WR:185/76	日本大学 TE:188/104	武藏大学 TE:186/102
90	91	92	97	99			
藤谷 雄飛 富士通フロンティアーズ	齊川 尚之 富士通フロンティアーズ	松尾 佳郎 アサヒビールシルバースター	中田 嘉博 オービックシーガルズ	高橋 玲太 富士通フロンティアーズ			
関西大学 DL:180/97	早稲田大学 DL:180/97	日本大学 DL:183/117	関西大学 DL:183/104	立命館大学 DL:185/110			



〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 801

TEL:03-5843-0482・FAX:03-5843-0483



6. 活動記録

(1) トライアウトまでの経緯について

- ・2019年10月5日：TSL vs JPN の国際試合が承認される。
- ・2019年11月5日：CFLとのパートナーシップ提携協議開始（巻末資料）
- ・2019年11月19日：JAFA 及び USA FOOTBALL・TSLとで国際試合プレスリリース
- ・2019年12月1日：日本代表トライアウト実施要項告知

※内容

- 1) 実施日時 関東：2020年2月1日（土）・関西：2020年2月2日（日）
 - 2) 実施場所 関東：富士通フロンティアーズフィールド
　　関西：パナソニック門真フィールド
 - 3) 応募条件 2019年現在 Xリーグにて活動している選手および 2020年に Xリーグでの活動を予定している選手
　　※但し、後日 Xリーグ所属選手だけでなく JAFA 加盟団体の大学生でも可と変更
　　※所属チーム（所属予定チーム）責任者の承認必須
 - 4) トライアウト内容 ・40yd 走・20yd シャトル・3 コーンドリル・垂直飛び・立ち幅跳び・ベンチプレス、スクワット測定・身体測定（身長、体重、ウイングスパン 他）・ポジション毎のスキルチェック
 - 5) 費用負担について トライアウト交通費：本人負担
　　練習交通費（宿泊費）：JAFA 負担
　　渡米費：一部本人負担
- ・2019年12月26日 渡米までのスケジュール作成
- ・2020年1月15日 代表コーチミーティング
- 1) チーム方針
 - ・勝ちを目指すことが前提 ⇒相手 team(アメリカ)に以下項目で通用する(上回る)選手がどれだけいるのかを重視する。 Physical / Technique / Toughness (Hitting)
　　※今回の企画の主旨の 1 つは日本の選手の海外挑戦への道を繋ぐこと。
　　次回以降へつなぎ少しでもアメリカに寄って行ける結果を得ること。海外で活躍できる選手の輩出すること。

・過去の振り返り （ほぼ毎回同じと認識）

Offence の精度、WR-QB, Run unit Defence の Tackling

⇒今回の選考でも重視するとともに、練習で強化を図り、少しでも改善を目指す。

2) 選考基準

- ・上記 1 に沿って選考を行う
- ・原則は Tryout 時の数値、プレーを見て選考を行う。（但し、測定不可項目がある場合は本人から申告させるものの、評価には反映させる）
- ・原則、選考時にメンバーの Team balance は考慮しない。

3) Final Roster 45

■OFF 22+1 OL 9・RB 2・RB/WR 1・WR 8・QB 2・K/P 1



〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 801
TEL:03-5843-0482・FAX:03-5843-0483

■DEF 22 DL 6・LB 6・DB 8・DL/LB/DB 2
※練習要員等に鑑み上記+5~10を目安に合格とする。
最終ロスター（渡米メンバー）は2月13日にFix

（2）トライアウトについて

- ・2020年1月20日：日本代表トライアウトのお知らせ（JAFA HP）
- ・2020年1月22日：日本代表トライアウトのお知らせ（プレスリリース）
- ・2020年2月7日：日本代表1次選考結果（56名）発表（JAFA HP）
 - 1) 関東地区トライアウト：2020年2月1日（土）@富士通フロンティアーズフィールド
参加選手：90名
 - 2) 関西地区トライアウト：2020年2月2日（日）@パナソニックインパルス門真フィールド
参加人数：54名
※両日とも、CFLコンバインも同時進行。
 - ・CFLコンバイン参加者：関東地区11名・関西地区：7名
 - 3) 日本代表1次選考発表 OFF:29名・DEF：28名（合計57名）
※但し、発表後1名辞退
- 今後の課題：Xリーグ所属チームグランドを使用する場合、取材陣も含め入構リストを作成する。
 - 遠隔地（関西方面等）から上京する選手の宿泊場所確保について
 - 使用的するボール（NFL用ボール）※現在JAFA倉庫に保管中（9球）

（3）国内強化練習について

- ・2020年2月10日：日本代表遠征メンバー（45名）発表（JAFA HP）
 - 1) 日程 第1週 2月8日（土）・9日（日）56名参加 @富士通フロンティアーズフィールド
※コーチングスタッフにより、9日終了後45名遠征メンバー選考（告知は10日）
 - 第2週 2月14日（土）・15日（日）45名参加
 - 第3週 2月22日（土）・23日（日）・24日（月・祝）45名参加
- 強化練習期間：2/1,2のトライアウト後はすぐ解散する。（実際にはコーチングスタッフはミーティングしていた）
 - 週明けの2月5日に電話会議実施。
 - 2月6日（木）選手に対してメールで告知し、7日（金）にJAFA HPにて56名発表
 - 2/8,9終了後、45名Roster発表
 - 但し、名称は「遠征メンバー」とすること。

（4）アメリカ遠征について

- ・2020年2月27日（木）～3月3日（火）
 - 出発：2月27日（木）
関東地区集合場所：AM9:00 成田空港第2ターミナル 3階出発ロビー Eカウンター前
関西地区集合場所：AM6:30 伊丹空港 北ターミナル 1階 JAL チェックインカウンター前
※JAL3004便 伊丹08:00発 成田09:15着
成田空港国内線到着口から直接、国際線アメリカン航空AA176便搭乗ゲートへ

(関東組とは、AA176 便搭乗ゲートで合流)

成田発 AA176 便 11:30 発→ダラス (DFW) 着 08:05 着

○帰国：3月2日（月）

ダラス (DFW) 発 AA175 便 10:50 発→成田着 15:20 着 (3/3)

※JAL3005 便 成田 16:55 発→伊丹 18:15 着

(5) 試合日程

・2020年3月1日（日）日本代表 vs THE SPRING LEAGUE 選抜 19:00 Kick Off

@Ford Center at The Star

TSL 公式 HP <https://www.thespringleague.com/?p=5440>



試合会場 : Ford Center at The Star

(6) 現地宿泊場所及び練習場所

宿泊場所 : Hotel: DFW Airport Marriott South
4151 Centreport Dr. Fort Worth, TX 76155

練習場所 : Practice Location: Harold Patterson Park
1000 Bardin Rd. Arlington, TX 76017



練習場所 : Harold Patterson Park